

## 第4回松本市学校部活動の地域クラブ活動への移行検討協議会 会議録

1 開催日時 令和6年2月5日(月) 午後1時30分から午後3時まで

2 場 所 松本市役所本庁舎3階大会議室

3 出席委員

会 長	長沼 豊 氏
委 員	宮下 昌史 氏
委 員	宮澤 陽子 氏
委 員	加藤 慎介 氏
委 員	矢野 麻美 氏
委 員	横内 俊哉 氏
委 員	柄澤 深 氏
委 員	青山 織人 氏
委 員	櫻井 貞文 氏

オブザーバー 荒井教育顧問

4 事務局 伊佐治教育長、逸見次長、坂口教育監、大島スポーツ本部長、小口文化観光部長、小西教育政策課長、清沢学校教育課長、丸山学校教育課施設担当課長、石川生涯学習課長、甕地域づくりセンター長、山本スポーツ事業推進課長、清澤文化振興課長、廣田地域づくり課長、幅部活動地域移行統括コーディネーター、高山学校支援室指導主事、三井スポーツ事業推進課長補佐、齋藤スポーツ事業推進課主査、森田生涯学習課主事、降旗教育政策課係長、竹内教育政策課主査、脇谷文化振興課主事

### <会議事項>

地域移行モデルケースの進捗状況について

幅部活動地域移行統括コーディネーターが説明。

(委 員) 着々とモデルケースの形が見えてきた。市として一律ではなく、地域ごと、種目ごと受け皿が出来てきている。無理なく進めていることが松本市の特徴だと思う。

課題管理表の対応報告について

降旗教育政策課係長が説明。

(委 員) スポーツ協会や受け皿となる団体との調整はどこがやっていくのか？

(山本課長) 種目ごと競技団体を代表している方を中心に進めている。プロジェクト会議の中で受け皿団体と調整していく。

(委 員) 課題No.8の受け入れ可能な一覧表、No.5の指導者の関係、No.29の謝金の問

題など、一覧表を見る限り、個人で受けているところもある一方、競技団体の場合もある。受け皿となる競技団体のバックアップもしっかり行ってほしい。

- (委員) 掛川市も同じように令和8年に平日移行も進めている。先日の協議会では、市長は「市全体でやらなければならない」と発言していた。財政状況も厳しいので、地元の企業からなんとかお金を調達し、バックアップしてくれると良いと思う。地元の企業が子どもたちのために支援することとで、地元の企業にも就職してくれる可能性も出てくるので、協力をお願いすると良い。

松本市部活動地域移行推進計画(案)のパブリックコメントの結果について  
小西教育政策課長が説明。

- (委員) 移行期間中、移行後は学校職員の勤務負担に差が出る。部活動指導員、地域アスリートの力がありがたいので、今後も引き続きお願いしたい。
- (委員) パブコメでも送迎の意見が多く、保護者の負担が心配。参加費について、送迎不可能な子への支援が山間地校については必要だと思う。週に何回か、実情に合わせて、デマンドの交通を用意してほしい。
- (委員) パブコメに対して、真摯に対応していくことは必要だと思う。公表してからも問い合わせが予想されるので、丁寧に対応してほしい。保護者としては、今までの部活動ではコントロールできていた生活がそうでなくなることに對して、特に財政的な負担が大きい。行政としてはどこまで支援できるか、クラブとしては何ができるか、各クラブと情報共有して、丁寧に対応していく必要があると思う。
- (委員) 地域クラブと民間クラブとの定義があいまいに感じる。市のホームページに団体リストが出ている。これらの団体はガイドラインに沿った活動をしている団体として、掲載しているということか？
- (斎藤主査) 中学生が参加できる団体の一覧表として紹介している。全てが国のガイドラインに沿った活動をしているわけではない。
- (委員) 地域クラブを発足するメリットが見えにくい。支援について明確に打ち出し、地域クラブの登録を醸成する流れを作してほしい。
- (委員) ホームページで公開している団体一覧表について、個人の名前や電話番号が掲載されているが、本人は知らない状況だったと聞いた。団体の個人情報の扱いも気を付けないとトラブルになる可能性がある。一覧表には個人で運営している団体もある。個人ではなく競技団体が裏で支えている仕組みが必要だと思う。
- (山本課長) プロジェクト会議の出席者に依頼して情報を入手している。電話番号も掲載の承諾を得ているはずだが、今後は気を付けたい。
- (委員) パブリックコメントNo.55について、今までの部活動は顧問の先生が生徒同士のトラブルも見てくれていた。市の考え方として、市と学校と地域が協力して対応していくと書いてあるがそれでよいのか？地域クラブが逐

一、市や学校と連携して対応するのはハードルが高い。現状では学校に報告していない。複数の学校から参加しているチームもあるので全ての学校と連携をとるとなると難しいと思う。

(坂口教育監) 一定程度地域クラブがやっていただけることが理想だが、事案によっては重大な事案になることもある。学校に起因することもあるので、連携をとってほしいと考えている。

「地域クラブ」の新たなネーミング案について

小西教育政策課長が説明。

(委員) 本当に名前を付ける必要があるのか？今後もずっと市が管理していくのであれば、必要かもしれないが先の見通しがついてない現状で名前を付ける必要ないと思う。

(委員) 地域クラブのままが良いと思う。松本市民だけでなく、広域的な範囲が対象なので、頭に松本をつけると違和感がある。今の時点では、国の表記と同じとし、将来的に制度が定着してくれば名称を変えてもいいが、その時点で考えればよいと思う。

(委員) スクールプラスが良いと思う。

(委員) 全国的な動きだとすれば、地域クラブが必然的だと思う。変えるとすれば「チャレンジ」といった言葉が今の時代に合っていると思う。変えるとすればクラブ(地域クラブ)と注釈をつけないと転校してきた子は意味がわからない。

(委員) 中学生に決めてもらうといいと思う。自分たちが決めたもので主体性を持ってもらいたい。

(小西課長) 改めて事務局内で検討します。

(閉会)